

若尾経「青森皿」2013年 当館蔵

加藤委「サンカクノココロ」2016年 撮影：金谷智昭

PUNK 工芸 魂の救済

加藤委
若尾経
伊藤秀人
加藤亮太郎
大江憲一
川端健太郎
新里明士
桑田卓郎
角好司
武田享恵

主催 | 茨城県陶芸美術館 協力 | 樂翠亭美術館 開館時間 | 午前9時30分から午後5時まで
(入場は午後4時30分まで) 休館日 | 月曜日(ただし、5月1日(月)は開館) 観覧料 | 一般310(260)円
高大生260(210)円 小中生150(120)円 * ()内は20名以上の
団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び
付き添いの方 [ただし1人につき1人まで] は無料。土曜日は高校生以下無料。

平成29年
4月15日 **土**
5月28日 **日**

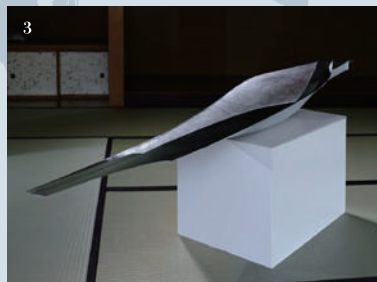
茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地 [笠間芸術の森公園内]
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012
URL <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>



PUNK 工芸 魂の救済

平成29年
4月15日 土
5月28日 日

1. 桑田卓郎(樂翠亭美術館での展示風景)
2. 角好司「蒔絵二段小箱「真夏の夜の夢」
2011年 3. 武田享恵「tin」2016年 4. 加藤
亮太郎「関」2016年 5. 大江憲一「群」
2016年 6. 伊藤秀人「練彩大鉢」2016年
7. 新里明士「光群」2016年
撮影(1~6): 金谷智昭



平成28年、富山県の樂翠亭美術館において、現代工芸を代表する気鋭作家による展覧会「PUNK 工芸—魂の救済」(平成28年9月17日(土)–12月6日(火))が開催されました。本展は、そこで展示された作品を一部入れ替える等して、改めてご紹介するものです。PUNK(パンク)とは、1970年代に生まれたパンク・ロックを中心に発生したサブカルチャーのことで、パンク・ロックの流行と共に、反骨精神の象徴として世界的に広がりました。現在では、反体制的な姿勢そのものをパンクと呼ぶ場合もあります。本展におけるパンクという言葉には、反骨精神を表す一方、現代社会にむけた一種の「起爆剤」としての希望も込められています。今の時代を生き抜く強い力を持つ作家たちが、既成概念にとらわれることなく斬新で尖鋭的な作品を呈示して、「新しい工芸」を生み出すとする姿勢は、まさにパンクと言えるでしょう。確かな技術を持つ彼らが生み出す作品は、現代における工芸の可能性を広げていると言っても過言ではありません。本展では、陶芸の伝統的な産地である岐阜県美濃地方で活動する加藤委、若尾経、伊藤秀人、加藤亮太郎、大江憲一、川端健太郎、新里明士、桑田卓郎らの陶芸家たちに、輪島塗の産地である石川県輪島市の漆芸家・角好司と、生まれ育った北海道の雄大な自然を背景に制作を行う金工作家・武田享恵を加えた10名により、進化し続ける現代工芸の魅力を紹介しつづけます。

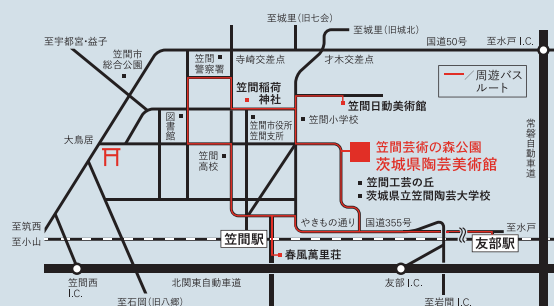
オープニングイベント (展覧会チケットが必要です。)
日時 | 平成29年4月15日(土) 13:30~14:30
場所 | 当館1階多目的ホール、当館地階企画展示室
内容 | ホールでのセレモニーの後、展覧会場にて出品作家と担当学芸員による、作品解説を行います。どなたでもご参加いただけます。
定員 | 120名(先着順)

シンポジウム
日時 | 平成29年5月13日(土) 13:30~15:00
場所 | 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師 | 加藤委氏、角好司氏、武田享恵氏(いずれも本展出品作家)、正村美里氏(岐阜県美術館副館長兼学芸部長)、金子賢治(当館館長)
定員 | 120名(先着順)

ギャラリートーク
(展覧会チケットが必要です。)
担当学芸員が展覧会をご案内します。
日時 | 平成29年
4月22日(土)・5月20日(土)
13:30~

ごいっしょに
「**絵画と着物で織り成す 日本 華やぎの情景**」
平成29年3月18日(土)~5月14日(日) 笠間日動美術館 Tel. 0296-72-2160
「**日本の近代美術と茨城の作家たち—春へ—**(所蔵作品展)」
平成29年4月11日(火)~5月14日(日) 茨城県近代美術館 Tel. 029-243-5111
当館次回企画展 | 「**第24回日本陶芸展**」平成29年6月17日(土)~9月3日(日)

交通案内
電車=JR常磐線で上野~友部駅(特急70分)/友部駅から「かさま観光周遊バス」(料金100円、定員36名)で15分/友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(9分)下車/笠間駅からタクシーで5分 車=北関東自動車道 友部インターから10分/笠間西インターから15分/常磐自動車道 岩間インターから25分/水戸インターから30分 駐車場=笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用下さい。※会期中、芸術の森公園内でイベントがある場合は、駐車場が有料になりますが、展覧会をご覧頂く方には美術館受付で返金いたします。



割引券
この券をお持ちの方は、1枚につき
4名様まで展覧会入館料が半額
(0円未満は0円)となります。
ご利用いただけます。